

中国の動向をお届けします。



北京通信

vol.9

福井商工会議所主催(中国日本商会 出向)

藤原 卓也



北京の自動車事情

渋滞が常態化する北京市内

北京市で生活するようになり、心がけていることがある。それは企業との打合せや会議のため、自動車による移動の際、予定時間よりも30分程度の余裕を持たせることだ。

北京市内は交通渋滞が常態化しており、特に夕方の時間帯は片側4車線道路でも数十分間全く動かないこともある。原因は北京市内の過密化が進み交通渋滞が常態化する、いわゆる「大都市病」によるためだ。

伸び続ける

中国の自動車市場

北京市の交通事情に悩まされながら生活していく中でよく気付くのは、3台に2台が日本やドイツをはじめとする海外メーカー自動車の多さである。海外メーカーは北京市民に浸透している一方、中国市場をより多く獲得しようと躍起になっている。

中国自動車工業協会が発

表した2015年の新車販売台数は前年比4.7%増の2459万7600台と7年連続の世界一となった。世界各国の自動車メーカーにとって中国の自動車市場は見逃ごせない存在である。

中国自動車市場の好調さの一端は、5月初旬に開催された北京モーターショー2016からも垣間見ることができた。このイベントは各社豪華なブースを設け、世界初お披露目の新型自動車やコンセプトカーを展示していた。特に若者に人気が出始めていると言われるSUVと、乗用・商用など目的別にアレン



北京モーターショーで人気を集める SUV

ジされた電気自動車は、来場者の関心が高かった。また、会場内は大勢の人であふれかえっており、特に20〜30代の若年男性や家族連れの来場者が多かった。

自動車の購買意欲が

旺盛な中国人の若者

日本では若者の車離れが著しいと聞くが、中国ではその傾向は見受けられず、若者の自動車購買意欲は旺盛である。特に高級車については保有者の平均年齢が33歳と若く、高級車を保有することが購入者自身の成功のステータスになると認識されているようだ。

経済の低迷が叫ばれる中国であるが、こと自動車に関してはまだまだ右肩上がりの市場を有しており、その背景には中国人の所得水準の向上と、自動車がある生活への憧れが垣間見える。

中国日本商会へのお問い合わせは・・・
福井商工会議所 会員サービス課

TEL 0776(33)8254